熊歯会報

Kumashi Kaihou

2013
3
March
No.683

熊本県歯科医師会

熊歯会報 3月号

2013

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

ー表紙に寄せてー

島崎の百梅園にて毎年恒例の「梅祭り」が開催された。オープニングは千原太鼓の景気付けの太鼓の音が鳴り響く。老若男女会場は大賑わいでした。（N.T）

巻頭言（専務理事 渡辺 賢治）…… 3

理事会 …… 4・5

特集
第2回熊本城マラソン …… 6～10

委員会だより
（学術、学校歯科、地域保健）…… 11～14

国保だより …… 15・16

郡市会だより
（水俣・芦北、荒尾、玉名）…… 17・18

会長　予備選挙の公示 …… 19

グルメハンター …… 20

会務報告 …… 21・22

あした天気になあれ！

噴煙

専務理事　渡辺　賢治

患者が減り、収入が減り、資金繰りが苦しくなり医院経営がうまく行っていない人はいませんか。子どもの教育費や生活費で家計が火の車の人はいませんか。

こつこつ貯めた貯蓄や保険や年金を解約し当座の資金に回している人、親や身内、友人に恥を忍んで借り入れをしている人、銀行の融資が受けられず安易に高利のローンに手を出して返済がいつまで経っても終わらない人はいませんか。

指導を受けるのがいやで萎縮診療になっている人、レセプトの返戻があっても放置している人はいませんか。

現状を打破するため自らを奮い立たせ行動を起こすことのできない人、現実から目をそらし、小言ばかりで、ただただ人のせいにしている人はいませんか。

訪問診療や予防歯科といった新しいことを始めようとしてもなかなか前へ進めない人、患者さんとのトラブルやスタッフとのもめ事、スタッフ同士のもめ事で診療に集中できない人、診療室が暗い雰囲気になっている人はいませんか。

自分自身あるいは身内の病気や体調不良で身も心も折れそうになっている人、よもや、自らの手を持って全てを解決しようという最悪のシナリオを考えている人はいませんか。

約800人の会員の中にはうまく行っている先生、何とかやっている先生、困りごとや悩みを抱えうまく行っていない先生、それぞれ様々な境遇の中で日々診療に当たり歯科医師としての人生を歩んでおられます。

組織の重要な存在意義の一つにその組織の構成員たる会費を払っている会員の生活を守り支えることがあります。

対外的には行政や他団体との交渉力、分析力、企画力、情報収集・発信力、根回しと連携、環境づくり等、熊本県歯科医師会も日本歯科医師会同様に政策集団として強化を図っていかなければなりません。それは会員の生活を守り会員の幸せを勝ち取るための戦い（あるべき姿）であると言えます。組織としての社会的責任を果たしながら、会員が利益を享受できるような社会的仕組みを創って行かなければなりません。実になる実のなる事業の創意工夫が必要です。厳しい時こそみんなで知恵を出し、力を合わせ事に当たっていかなければならないと思います。

対内的には、学術を追求する専門家集団として、また会員の困りごと、悩み事、不安に対し対応できる共生集団として、厳しさの中にも優しさを兼ね備えた、人の痛みがわかる、会員に対し慈愛に満ちた会務を執行していかなければなりません。会員への様々な形での支援・サポート体制が必要であり、会は会員を支える責任があります。

一方、組織の構成員たる会員においては、一人ひとりが歯科医師としての誇りを持ち、日々の研鑽を重ね、課題を解決し、健全な医院経営と良質の医療・保健・福祉の提供に当たることが求められます。つらい時こそみんなで一緒に頑張りましょう。

ミスチルの歌に「♪雨のち晴れ♪　♪いつの日にか♪　♪虹を渡ろう♪」とあります。
フレフレ会員！フレフレ歯科医師会！あした天気になあれ！

理事会報告

通常代議員会・通常総会に向けて

― 第11回理事会 ―

２月27日（水）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長ほか宮坂副会長を除く全役員、代議員会より久々山議長、荒木副議長出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を加藤、松本理事として第11回理事会が開催された。

開　会：中嶋副会長
挨　拶：浦田会長

２月１日にがん患者医科歯科医療連携事業合意書の調印式を無事終了いたしました。来月は合意書を交わした３つの病院に出向き、医師や看護士等に連携事業の内容や歯科の有効性について説明をいたします。全国でがん連携事業に登録している歯科医師数が現時点で二千数百名と聞いております。一方、本県で現在実施しているがん連携講習の受講数は四百名を超えていますので、この先生方が最終的に登録していただくと、安心してがん連携事業が推進出来ます。

昨日と本日は学齢期歯科保健研修会と題して、フッ化物応用についての講演が行われました。本県においてもこれまでとは状況が違ってきており、積極的にフッ化物洗口を取り入れようとする学校が増えつつあります。研修会の講師である境先生のお話では、現在、佐賀県が小・中学校におけるフッ化物洗口者が日本一ですが、長崎県においては全小学校でフッ化物洗口を実施することを決定したそうです。本県でも佐賀や長崎を模範としてフッ化物洗口を推進し日本一を目指して行きたいと思います。

日歯ではテレビや雑誌等を利用した国民向けの広報活動を始めました。本会においても、今後本会の事業を県民へ周知するための広報活動を行っていかなければならないと思いますので、先生方のご協力をよろしくお願いいたします。さらに、日歯は２月21日付で公益社団法人への移行が承認されたとのことで、本会と同様に４月１日より新法人へ移行することになりました。大久保日歯会長は、組織形態が変わるだけで実施する事業は今までと何も変わらないとおっしゃっていますので、本会としましても移行後も同じ気持ちで滞りなく会務運営を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、本日は代議員会の議長と副議長にお越しいただいて、３月の通常代議員会の運営を中心に協議いたしますので、慎重審議をよろしくお願いいたします。

会務報告：（自：１月21日～至：２月24日）

本会総務：理事会、常務理事会、災害対策準備委員会、くま歯キャラバン隊、九地連協議会、都道府県会長会議、社会歯学研究会冬季研修会、県がん患者医科歯科医療連携事業合意書調印式および記者発表
学　　術：インプラント治療に関する講演会
社会保険：九州厚生局との打合せ
地域保健：各郡市地域保健担当者会、熊本型早産予防対策事業市民公開講座
広　　報：会報編集・校正、ＮＨＫテレメッセ出演
学校歯科：全国学校歯科保健研究大会準備委員会、各郡市学校歯科担当者会（関係団体との協議会）
医療対策：医療相談苦情事例報告
センター・介護：口腔ケア指導者養成研修会、県障がい児（者）歯科保健推進協議会
総務・厚生：災害対策マニュアル
学　　院：特別講義、戴帽式、一般一次・社会人入試
国　　保：通常組合会、組合員資格確認

以上、各担当役員より報告がなされた。

会務報告その２：

１．表彰
・日本学校歯科医会会長表彰
　冨永　英俊会員（玉名郡市）

増田　了会員（八代）
表彰式：平成25年３月27日（水）
於・日学歯総会

２．終身会員（平成25年度より種別変更）
坂本　憲昭会員（熊本市）
徳永　宣夫会員（熊本市）
甲斐　利博会員（熊本市）
伊東　隆利会員（熊本市）
西川　庄次会員（熊本市）
津田　勝久会員（熊本市）
元島　渥子会員（熊本市）
下石　兵衛会員（宇土郡市）
入江　正昭会員（人吉市）

３．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼
・介護保険審査会委員／県介護保険審査会事務局（県認知症・地域ケア推進課）
宮坂　圭太　副会長
任期：平成25年４月１日～平成28年３月31日
・生活保護医療扶助業務に従事する歯科嘱託医／県健康福祉部長寿社会局社会福祉課
西野　隆一監事
任期：平成25年４月１日～平成26年３月31日

４．日本歯科医師会の平成25年度会費
日歯より25年度から第２種会員（現行の５条２項会員）の会費を減額する旨の連絡があったため、その部分についての本会会費・負担金の徴収額を変更する。

５．がん征圧推進協力会員の年会費
昨年度と同様に、４口・20,000円を納付する。

６．平成25年度定期健康診断・特定健康診査・特定保健指導実施企画
昨年度と同様の健診機関・内容で実施する。

７．委員会事業企画
・学術委員会：「バイタルサインセミナー」（５月12日）

８．委員会事業報告
・地域保健委員会：「各郡市地域保健担当者会議」（２月９日）
・学校歯科委員会：「各郡市学校歯科担当者会議、関係団体との協議会」（２月９日）
・学術委員会：「インプラント治療に関する講演会」（２月３日）

９．会計１月末現況

10．３月行事予定

11．その他
○小島副会長と渡辺専務理事より、２月１日の県がん患者医科歯科連携事業調印式について、熊日新聞や日本歯科新聞の記事をもとに報告があった。
○前田理事より、２月26日の九州厚生局との打合せ内容について報告があった。
○浦田会長より、２月22日の都道府県会長会議について、①新法人への移行②飲酒運転による行政処分③死体取扱規則の改正案④公認スポーツデンティスト養成講習会⑤消費税課税問題⑥共同指導⑦保険者との協議会⑧25年度歯科保健関係予算⑨国民に向けての広報活動⑩日歯第６種会員への入会促進等の報告があった。
○中嶋副会長より、25年度共同指導予定、26年度点数改定説明会開催日（平成26年３月28日・県立劇場）、基金の審査状況等について報告があった。

協　議：

１．第６次熊本県保健医療計画（案）に対する意見
意見の追加があれば、渡辺専務理事または事務局まで連絡することとした。

２．くま歯キャラバン隊の研修メニュー見直し〔承認〕
次年度も実施するにあたり、各委員会で研修メニューを見直すこととし、３月１０日までに渡辺専務理事へ変更等の連絡をすることとした。

３．次期役員決定後の臨時代議員会開催日〔承認〕
７月20日（土）午後３時より開催することとした。

４．24年度通常代議員会日程資料及び当日のタイムスケジュール〔承認〕
報告、議事等の資料内容を承認し、３月１日（金）に代議員へ送付する関係で、修正があれば早めに事務局まで連絡することとした。さらに、当日のタイムスケジュールについても原案どおり進行していくこととした。

５．24年度通常総会日程資料及び当日のタイムスケジュール〔承認〕
資料内容及び当日のタイムスケジュールについて原案どおり承認した。

６．災害対策検討臨時委員会の設置〔承認〕
原案どおり設置し、次年度より本格的に始動することとした。

７．21世紀プロジェクト答申書の答申内容の検討
「組織の強化」、「会員の融和」、「地域社会との連携」について、課題に対する取り組み状況や対応策を田上・椿・加藤理事が報告及び提案を行った。さらに、大林理事より委員会で一部採用しているSKYPEシステムについて紹介が行われた。

監事講評：片山監事、西野監事
閉　　会：小島副会長

（広報　加藤　久雄）

特 集

今年も頑張りました

― 第２回熊本城マラソン ―

スタート前で
緊張感が漂う

余裕の川瀬、吉﨑、宮田会員

一斉にスタート

普段は通れない道路が
マラソンコースに

これだけの人が道路にあふれるのも
マラソンならでは

今年も勇壮な角岡会員の応援

ＡＥＤ隊の皆様も
お疲れ様でした

立ち止まり笑顔の記念撮影

今年はボランティアで参加

66才の現在も朝４時半から８kmのラン、仕事終了後は近くのジムで水泳1000mをノルマとして自己鍛練を続け、35才から走り始めた総走行距離は11万kmほどで、あと３年間走り続ければ地球３周となる――

昨年、第一回熊本城マラソンが開催されるのにあたり、市の歯科医師会で“なんとか大会を盛りあげよう”と10名の歯科医師がエントリーし、私が長年走ってきた経験者（フルマラソンは30数回完走中）ということでコーチを依頼され、20～40km走の練習会を数回企画。その結果、昨年は参加者全員完走！今年もその中の６名も完走し、その勢いで『デンタル歯知ろう会』を立ちあげようということに!!

私は還暦すぎの年金生活者!?で歯科医師会での役目は終った――と思っていたのだが、“走りの顧問”として出番がありそうで楽しみです。来年は今一度走ろうかなァ…

第１回熊本城マラソン完走時

（熊本市　奥田　良樹）

また来年も走りたい

ゴールした瞬間の感想はというと、正直42キロは長かった。そして、もう走らなくていいんだ、やっと歩ける、というものだった。身体はというと、両足の裏にはマメ、左膝の関節痛、両足の筋肉痛など、ぼろぼろだった。しかし、心は非常に気持ちいい気分、達成感と充実感、これが脳内麻薬物質のエンドルフィンによるランナーズ・ハイか？ゴールした周りの人たちも皆、足を引きずりながら、いい顔している。

今年の熊本城マラソンは、昨年より非常に長くきつく感じたが、ゴールした後は、なんだかそのきつさが楽しい思い出として、よみがえってくる。そして、フルマラソンを完走した人にしか味わえない、この達成感と充実感にひたり、足を引きずりながら、また来年も走りたい、とも思いながら、熊本城をあとにしている自分がいる。

フルマラソン走ってみようよ

皆さんもフルマラソン完走という、この楽しさ、苦しさを味わってみませんか？一度フルマラソン、走ってみようよ。やみつきになるかもよ。

（熊本市　川瀬　博美）

サブ４達成！

サブ４達成！３時間58分32秒で完走いたしました。“サブ４”とはフルマラソンを４時間未満で走る事。私のようなおじさんランナーにとってみれば夢のような話で、サブ４を意識してある程度練習していくとそれはとても大きな壁にみえてきます。そこで、自院の患者さまとスタッフに４時間を切ります！と宣言して10月より練習開始。週に２～３回、月100km～150kmを走りました。17日本番では色々なドラマがありましたが、頂いたお守りや激励のお手紙をポーチに入れて励みにしました。寒い中沿道より応援して下さった方々からも不思議なパワーを頂き、過去最高記録を出すことが出来ました。大会スタッフ・ＡＥＤ隊の方々、皆さま本当に有難うございました。これからも走り続けたいと思います。

３時間58分32秒で完走

（熊本市　町田宗一郎）

皆さんに支えられた42.195km

走りました、第２回熊本城マラソン！それも、初マラソンでフルマラソンです。

軽い気持ちでインターネットの申込フォームをクリックして、当選メールをいただいてからというもの、目標は掲げたものの半信半疑な状態が続いていました。その目標は、先ず完走、出来れば６時間ほどで走りたいというものでした。それからというもの、約５kgのダイエット後に、全くの自己流で練習する日々が続きました。そして今年の熊歯会報が発行されたころ、歯科医師会のＯ先生から直々に練習会に誘って頂き、初めて20kmを超える練習をすることができました。その後も練習を重ね当日は無事に完走し、目標の６時間をわずかではあるものの切ることができました。

いろいろと教えていただいた諸先輩方、応援してくれた仲間たち、寒い中に沿道で声援を送ってくれた子供たちやおじいちゃんおばあちゃん、皆さんに支えられた42.195kmでした。ありがとうございます。

目標の６時間を切り完走

（熊本市　林　　昭宏）

マラソンを通じたくさんの出会いに感謝

今回は昨年の第１回に引き続き２回目の出場となりました。１回目の昨年、新年パーティの席でオマエは絶対無理だろ～、何なら賭けようか？という温かい周りの先輩先生方の激励もあり、その期待を裏切っての完走でした。今回は練習不足も祟り記録的には伸ばすことはできなかったのですが無事に完走することが出来てホッとしております。

自分との戦い、辛抱、我慢、粘る、などという言葉に縁遠い私ですが、マラソンを通じてたくさんの出会いがあり、ご指導、励まし合う仲間も出来、タイムの差こそあれ、その中でも自分がいちばん落ちこぼれですが、皆と汗をかき、一緒に風呂に入り、練習後の反省会がまた楽しい！楽しすぎる……それだけを楽しみに走っていたような気がします。そしてまた今年も大会当日は歯科医師会館の一室をお借りすることも出来、ＡＥＤ隊の先生方や、ボランティアとして、また地域の方達と私設のエイドを作って応援していただいた先生方にも厚く感謝申し上げます。来年もエントリーするかは大好きな県歯科医師会の野球をしながら考えます。

昨年に引き続き２回目の出場

ちなみに今回も私の愛する家族は家のテレビの前でしっかり応援していたとのことでした……。

（熊本市　吉﨑　久次）

お知らせ

平成24年度通常代議員会・通常総会のお知らせ

下記の通り平成24年度通常代議員会・通常総会を開催いたしますのでお知らせします。

記

通常代議員会

日　時：平成25年３月23日（土）午後２時～
会　場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意してありますので、ご来場下さい。

通　常　総　会

日　時：平成25年３月23日（土）午後５時～（代議員会終了後）
会　場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

安全なインプラント手術のために

― 学術講演会 ―

学術委員会

２月３日（日）県歯会館４階大ホールにて116名の参加者を集め熊本県学術講演会が開催された。今回は「インプラント治療のトラブルを未然に防ぐための術前診断　～手術の前に必要な知識・情報・技術～」と題し、神奈川歯科大学横浜クリニック インプラント科非常勤講師　古賀テクノガーデン歯科（千葉県）古賀剛人院長に近年インプラント治療において話題に上がるトラブルを回避するために、主に解剖生理学の観点から検証して、術前に診断可能な事項を提示して頂いた。

まず、手術を安全に行うために、

①無菌的操作
②切開、剥離、縫合などの基本手技
③手術チームとしてのパラデンタル教育を確実に行う必要があり、

インプラント失敗の分類は、

①生物学的失敗……早期失敗（感染などによるインテグレーション不足）と晩期失敗（インプラント周囲炎）
②機械的失敗……上部構造、アバットメント、インプラントボディの破折など

を症例を交えて話された。

また、ビスフォスフォネート（BP）製剤服用患者において、注射はハイリスクと考え、外科処置は回避、経口は医師に確認し術前後３か月休薬できれば外科処置においてさほど問題はないとのことであった。

インプラント手術リスクファクターとして、術者の知識、技術などの術者リスクファクター、患者の全身疾患の有無や歯周病などの宿主リスクファクター、治癒期間の荷重ファクターを解説された。

そして、インプラント手術において生じる可能性のある危険な出血について

①上顎大臼歯部……大口蓋動脈、翼突筋静脈叢
②下顎犬歯、小臼歯部……オトガイ下動脈、舌下動脈

が特に深刻なこと、また口底部大出血を回避するには口底の解剖を熟知することの大切さを話された。

術前診断の大切さを公演中の古賀院長

インプラントにおける出血の偶発症を回避するために

①外科解剖の知識が重要
②CT検査の重要性
③可能なら手術計画に３Ｄ計画ソフトを使用

補綴的リスクマネージメントとして

①欠損パターン
②スマイルライン
③リップサポート喪失量
④患者の求める審美レベル

を細かく確認することと解説された。

まとめとして、

①早期失敗と医原性偶発症の回避は、外科的な総合力の向上
②晩期失敗の回避は、リスク診断とそれに対応したメンテナンスシステムの確立
③機械的失敗の回避は、適切な上部構造設計
④患者サイドの許容に関する失敗の回避は、術前の診断
⑤生物学的偶発症の回避は、早期の適切な対処

であると話され、古賀院長の講演は終了した。

講演中に「天国へ行く最善の方法は、地獄への道を熟知することである。」（マキアヴェッリ）という言葉を引用されたが、術前にリスクファクターを細かく分析し、後手に回らないよう細心の注意をすることの重要性を再認識させられる講演会であった。

（学術　井上　裕邦）

学校歯科医が学校に、学校が学校歯科医に望むこと

― 学校歯科協議会 ―

学校歯科委員会

２月９日（土）午後３時より県歯会館４階にて、「各郡市学校歯科医担当者、熊本県教育庁教育指導局体育保健課健康福祉部健康局健康づくり推進課、熊本県養護教諭研究会、熊本県歯科衛生会における学校歯科協議会」が開催された。

浦田会長の挨拶後、各所管の代表挨拶として、教育庁審議員兼体育保健課の平田浩一課長補佐、健康づくり推進課の佐藤克之課長、養護教諭研究会の曽我史子会長、歯科衛生士会の福本厚子会長よりそれぞれ挨拶があった。

まず、「学校歯科医が学校に、学校が学校歯科医に望むこと」と題してアンケートの集計結果（２月送付）をもとに大林理事より報告があった。

このアンケート結果から分かることや今後の課題が話され相互理解と今後の対応について協議された。

学校健診表の取り扱いについて～検診表、読み方の再検討～

田畑委員より会員の先生方に配布された資料（平成22年４月に学校歯科委員会で作成）を用いて説明があった。健康診断の流れと要点、学校歯科健診早見表、要観察歯（CO）、歯周疾患要観察者（GO）、ZS等の話の中で特にCO要精検についての必要性、どうされているか等意見が熱く交わされた。また地域による健診票の統一がなされていないこと（歯列、咬合、顎関節、歯肉、歯垢等の欄の違い）に対して話し合いがなされた。

学校での子供たちへの講話について～CD作成についての説明と取り扱い方～

このたび学校歯科委員会では、先生方が講演で使用していただく資料として、説明用CD（パワーポイントファイル）と冊子を作成し、それぞれの取り扱い方の説明があった。

白熱した討論がなされた

尚、３月の送付物として先生方全員に配布すると宇治委員より話があった。

熊本県教育庁教育指導局体育保健課健康教育係指導主事の松島裕美氏より、学校におけるフッ化物洗口の実施状況について、実施主体は学校ではなく、市町村であること、またフッ化物洗口の実施方法については、地域にあった工夫がなされていることが分かった。

各郡市の学校歯科担当の先生方から、それぞれの地域でのフッ化物洗口の現状について説明があり、地域の現状と問題点等多くのことが協議された。

最後に渡辺専務、大林理事より今年熊本で開催される「第77回全国学校歯科保健研究大会」について、日本学校歯科医会の入会の促進と大会に際してより多くの先生方にご協力をいただけるようお願いされた。

予定の時間３時間をオーバーする程、白熱した討論がなされ、今後も関係各所の連携の重要性と協力を約束し盛会のうちに終了した。懇親会に場所を移してからも話が尽きることなく、時間内にできなかった議論がなされ、とても有意義な協議会となった。

（学校歯科　宇治　信博）

歯からはじまる大切な命

― 熊本型早産予防対策事業　市民公開講座 ―

地域保健委員会

２月11日（月）の建国記念日、午前10時より県歯会館４階ホールにて、熊本型早産予防対策事業市民公開講座が開催された。

田上理事の司会で進行された。

田上理事が司会進行

熊本大学大学院生命科学研究産婦人科学分野の大場隆准教授より「熊本県は早産・低体重児出産の割合が高く、平成19年からそれを減少させる活動を行っている。早産の場合は母親も産まれて来る子供も大変なリスクを負う。歯周病も早産を引き起こす一因であることが解ってきているので、今日はブラッシングなどで実際に手を動かしながら勉強して頂きたい」と来場者に開会の挨拶があった。

大場准教授の開会の挨拶

引き続き大場准教授より、この熊本型早産予防対策事業を行うに至った経緯を話された。熊本県における周産期医療の問題点として①極・超低出生体重児が多い②ＮＩＣＵ、およびその後方支援施設が少ない③小児科・産科医師が不足していることを挙げ、実際に2002年に熊本県で新生児が死亡した50例のうち、早産さえ阻止できれば生存できたかもしれないと考えられるものが15例あったと示された。ＮＩＣＵ等の施設を充実させることも重要であるが（予算的に困難な面もあり）、早産を減らす活動が最重要と考えると述べられた。また早産の割合を２倍以上高めるリスク因子として①喫煙②細菌性膣症③歯周病を挙げ、中でも細菌性膣症と歯周病の早産に対する影響は似ていることから、「妊娠前半期に細菌性膣症、歯周病を改善すると早期の早産が減る」という作業仮説を立てられたことを述べられた。この仮説に基づき天草地区、人吉・球磨地区で早産予防対策モデル事業を行った結果、両モデル地区ともに極低出生体重児の出生率が過去平均の約30%に減少した。この好結果を受けて昨年８月から熊本型早産予防対策事業を全県下で実施するに至ったと説明があった。

次に熊本大学の三好順也氏より歯周病と早産の関係について話があり、歯周病を有する妊婦は２～３倍早産しやすいという文献が報告された。妊娠が口腔内に及ぼす影響として①唾液の分泌が減少し酸性に傾く②つわりのためブラッシングができない③胎盤から分泌されるエストロゲンによる歯周組織の充血、浮腫、腫脹が起こる④胎盤から分泌されるプロゲステロン等による免疫寛容のため歯周病起因菌が増殖することを示された。また、歯周病により早産を引き起こすメカニズムを模式図を用いて説明された。絨毛膜羊膜炎の予防、生活指導と並び歯周病の予防が熊本型早産予防対策事業の三本柱の重要な一本であることを強調されていた。

続いて地域保健委員会の城敦也委員より歯

周病についての話があった。①歯周病とはどんな病気？②歯周病は感染症？③歯周病は全身に影響するの？④歯周病の診査法、治療法とは？という四つの疑問について解説する形式で進められた。まとめの中でその回答として①プラークを原因とする歯周組織を破壊する病気である②細菌（バイオフィルム）による感染症である③早産だけでなく糖尿病、心疾患などの様々な全身疾患に影響を及ぼす病気である④レントゲン検査や歯周ポケットの検査を行い、病原菌を減らす治療（プラークコントロール）や菌が住みにくい環境を作る（歯周ポケットを浅くする）治療を行うことを説明された。できるだけ専門用語を使わず、来場者に解り易いよう工夫して話をされていた。

歯科衛生士会によるブラッシング指導

10分の休憩後、歯科衛生士会による来場者へのブラッシング指導が行われた。実際に染め出しをしてブラッシングをしてもらったのだが、かなり熱心に取り組んでおられ、衛生士に対する質問も多く、その関心の高さが感じられた。

熱心に取り組まれた来場者

最後に田上理事が、自分の力で健康を守ることは、生きる力を育て生きがい寿命を延ばすことにも繋がると述べられて２時間の講座を締め括られた。

一般の方にも解り易い内容で、ブラッシング指導を通じて来場者とのコミュニケーションもとれる意義のある公開講座であった。一方で来場者が51名と少なく、今後も開催が予定されるなか動員には課題が残った。妊婦だけでなく、その家族や若い世代（将来の妊婦）への呼びかけも必要であろう。また、家族の健康を第一に考える母親に口腔環境の大切さを理解してもらうことは、増患や歯科のニーズを増やすことにも繋がると思われる。

（地域保健　宮本名留彦）

お知らせ

県歯からの発送物を県歯ＨＰに掲載しています

県歯ＨＰの会員専用ページでは、県歯からの発送物を発送日毎に掲載しています。

他にも会員専用ページには各種申請書、各委員会の資料、講演会情報等がございます。

是非、ご活用ください。

国保だより

各組合とも前期高齢者納付金などの高額の拠出金に苦慮

― 平成24年度九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会協議会 ―

１月19日（土）　宮崎観光ホテルで上記の会議が開催された。許斐副理事長の開会の挨拶、続いて長谷理事長の挨拶では、「国保組合を取り巻く環境は厳しいものがある。事業仕分けによる補助金の問題もある。各県とも健全かつ円滑な運営を図るために組織機能および財政基盤の確保がますます重要になってくる。被保険者の健康増進に勤めていかなければならず、この会議を通して情報交換、情報を共有することで組合の発展に寄与できればと考える。」と述べた。次に開催県の宮崎の重城理事長から歓迎の挨拶があった。続いて議長、副議長が選出された。

各県健全かつ円滑な運営を図るため努力している

報　告

庶務報告：平成24年１月21日から平成25年１月18日までの会議等の報告。

会計報告：平成23年度九歯連歳入歳出決算、平成24年度九歯連歳入歳出現計の報告。

監査報告：平成23年度決算・平成24年度現計は適正に処理されている旨の報告。

協　議

（１）平成23年度各県組合の決算状況

大 分 県：歳入では支払準備積立金から6000万円の繰入。歳出では、療養給付費は増加する傾向で推移。前期高齢者納付金と後期高齢者支援金の合計で前年より4000万円の増加、運営の悪化する要因となっている。単年度1041万円の赤字。

長 崎 県：前期高齢者納付金が大きな足かせになっている。収入不足分を補うため１億5900万円を繰入。歳出では、療養給付費はかなりの伸びがあり、高額療養費が年々増加。

福 岡 県：一人当たりの保険料は九州内で一番高く、医療費は４番目。支出が抑制され、保険料が高い状況なので、単年度決算では２億近い黒字。将来的には、保険料の改定が必要。支出が増えるようであれは、特別積立金の積み増しも必要。特定健診の受診率40％程度。

熊 本 県：歳入では国庫支出金4950万円減、繰越金は前年より5100万円の減、繰入金を9000万円、歳出では、保険給付費は前年より4500万円減、後期高齢者支援金・前期高齢者納付金・介護納付金合わせて約5000万円の増となり、9451万円の単年度赤字。

鹿児島県：単年度黒字。歳入では保険料が2750万円増、普通調整補助金がゼロになり5800万円ほどの減、歳出では療養給付費と療養費は増加、一人当たりの医療費が九州各県で最低で微増にとどまっている。

宮 崎 県：医療給付費が対前年３％増、補助金返還分が2614万円発生、単年度赤字。３つの拠出金が4234万円増加、歳出全体の約４割を占めている。ここ数年前期高齢者納付金の伸びが大きく今後ますます会計を

圧迫してくると思われる。

佐 賀 県：昨年と大きな変化は無い。単年度黒字。今後高齢者や高額医療費の伸びが懸念される。一人当たりの医療費も高め。

（２）平成24年度各県運営状況

大 分 県：支払準備積立金から平成23年度6000万円の繰入に続いて、24年度は１億円の繰入。組合員の減少により組合費が年々減少傾向、保険給付費は、ほぼ予算の範囲ではあるが、上半期は昨年より若干多めで推移。後半の推移が気になるところである。

長 崎 県：11月末現在昨年と大きな変化は無い。昨年度と変わったのは、保険料の所得割を引き上げ、かつ保険収入のみの賦課から自費診療を含めた事業収入で賦課徴収し1800万円の増加。高額療養費が増加傾向(微増)。

福 岡 県：出生数より後期高齢者医療制度に移る人数のほうが多い現状。１件あたりの点数が高い。
医療費の伸びは２～３％で他県よりは緩やかである。

熊 本 県：平成24年度の保険給付費は、９月まで毎月前年を上回っており、単年度赤字の予想。

鹿児島県：保険給付費、高額療養費とも対前年大幅な増額、後期高齢者支援金・前期高齢者支援金・介護納付金いずれも増加し厳しい状況。次年度以降は積立金の取り崩しが必要になってくる。事業収入への賦課としたが1800万円の増加しか見込めなかった。

宮 崎 県：受診率、一件あたりの点数、保険給付費は昨年と変わらず、高額療養費の月平均額が若干高くなっている。特定健診の受診率向上のため1000円の自己負担をなくした。

佐 賀 県：例年と大きく変わりない。平成24年度より、特定健診受診率向上対策として対象者一人当たり1000円交付（受診率70％を達成した支部に交付）。

（３）平成25年度各県予算編成方針

大 分 県：保険料を増額、葬祭費の減額。前期・後期・介護の納付金で24年度より1600万円の増額。

長 崎 県：大幅な保険料の値上げ（均等割り、所得割、従業員の保険料、家族の保険料）。

福 岡 県：特に変更なし。保健者機能の強化としてレセプト点検に関しても専門家の起用を検討。

熊 本 県：保険料は変更なし。介護分保険料、後期高齢者支援均分保険料を改定。給付費支払準備金積立金から予算に7400万円繰り入れる。

鹿児島県：平成24年10月から所得割保険料の算定基礎を医業収入に変更、年間限度額、賦課率は同じ。

宮 崎 県：前期高齢者納付金が１億円増の予定。保険料を値上げし、予算の組直しが必要。

佐 賀 県：保険料・付加給付等は変更なし。組合員の資格確認を行った。特定健診受診率向上への取り組み継続。

このように補助金は減額され、前期高齢者納付金をはじめとする国への拠出金は増加傾向である。また、甲種組合員の平均年齢の上昇に伴い病気になる可能性が高くなると必然的に医療費は増加する。潤沢な組合は無く、各組合とも厳しい運営を強いられているのが現状である。

（国保組合　桑田　和明）

郡市会だより

理解されてきた地域歯科保健

― 新年会 ―

水俣・芦北

1月18日（金）午後7時30分より、水俣芦北郡市歯科医師会新年会が芦北の「野坂屋」で開催され、15名の出席があった。

若江会長の年始の挨拶で、年末の解散と総選挙で自民党が圧勝し、歯科界にとっては良い方向に進むのではないかと期待している。また地域歯科保健については、最近やっと地域住民に理解されて来た様で、小中学校や幼稚園・保育園でのフッ化物洗口について行政と話が進んでおり、来年度の予算が付いたなら会員の先生方に協力をお願いしたいと述べられた。

また、乾杯に先立ち藤崎副会長より今までの政治連盟の活動報告とお礼があった。今年の夏に行われる石井みどり氏参議院選に対して、前回の選挙に対する反省点を踏まえ、水俣芦北歯科医師会での票の取りまとめについて具体的な例を挙げ話がなされ、選挙に対する今後の課題等については酒を酌み交わしながら、屈託のない皆様の意見を受けたまわりたいと述べられた。

その後、野村隆子会員の乾杯の御発声で開宴となった。野坂屋さんの美味しい和洋折衷の会席と鍋料理で、酒の量も進み、ほろ酔い加減になった所で、恒例の今年の抱負や近況について皆さんに語ってもらった。中には健康の為にストレッチやヨガを始めた会員がいて、早速ここで股割りをお披露目して欲しいとの野次に、来年の新年会までの課題にして欲しいと逃げられ、約束の日が楽しみだと、大いに盛り上がった。日頃の診療や家族、趣味や健康の話題等であっという間に楽しい時間が過ぎ、最後は皆様の健康と歯科医師会の発展を願い、伊藤俊一会員の元気な一本締めでお開きとなった。　（鬼塚　友文）

若江会長の労をねぎらって

久々の開催！

― 家族新年会及び厄晴れの会 ―

荒尾

1月21日（月）19時30分よりホテルヴェルデにて弥山和誠会員の厄晴れの会を兼ねた荒歯会家族新年会が共催された。

かつて荒歯会は家族同士の交流の場も有り、最低でも年に1回は親睦を深める場を設けていたらしく（全盛期は荒歯会婦人会もあって、会員とは別に親睦旅行が行われていたとのことである！）それが今回18年ぶりの開催となった経緯というのは、昨年他界された緒方会員の奥様と私が告別式の時までお会いしたことが無かった旨を福嶋会長に話したところ、狭い荒尾市内、街中で家族同志がすれ違ったとき、せめて挨拶できる関係にしていきたいという思いを疋田厚生担当理事が実現までこぎつけた。

当日は43名の会員、奥様、乳幼児を含めたお子様という参加者の中、福嶋会長、弥山会員の厄晴れ挨拶、乾杯の後、祝宴へと移った。

歓談中、各家族ごとの自己紹介、アトラクションとしてビンゴゲームも行われ、会員だけの祝宴とはひと味違った雰囲気の中、会員、家族が新たな絆を築くことができた2時間であった。

（坂田　輝之）

ひと味違った祝宴

郡市会だより

多くの御来賓でにぎわう

― 新年会 ―

玉名

１月25日（金）午後６時30分より司ホテルにて、玉名郡市歯科医師会新年会が開催された。

犬束専務理事の司会で会は粛々と進行した。開会に続き、冨永玉名郡市会長、浦田県歯会長、高嵜玉名市長、野田毅衆議院議員、林田たけし衆議院議員、松野信夫参議院議員より挨拶を頂いた。冨永会長は、「歯科医療が社会のニーズに合わせて疾病を治し、国民を支えて行きましょう」と話された。浦田会長よりがん連携の話があり、「会員の皆様に研修を受けてもらい参加して欲しい」との事と県歯会は４月１日より一般社団法人に移行するとの説明があった。高嵜市長は、玉名市健康食育フェアーに歯科医師会からの参加に感謝の言葉を述べられた。

野田議員は「１月28日から通常国会が始まり社会保障、医療、年金、消費税、などしっかり取り組んで行きたい」と話された。林田議員は昨年の衆議院選挙の謝辞の後「歯科医師会が技術を持って医療を支えて頂きたい」と挨拶があった。松野議員は「8020運動が国民の健康に役に立っている。歯が残存している人は欠損している人に比べ医療費がかからないので、歯を残せるように予防にも力を入れてほしい」と話された。

良い年になるように

平山玉名郡市医師会長の乾杯の音頭で祝宴が始まり、厚生委員会によるメロン争奪じゃんけんゲームが行われ、高級メロンを巡り盛り上がりを見せた。高級メロンを見事に当てた浦田由美子県会議員には、出席者から羨望の眼差しが向けられていた。そして最後に髙﨑常務理事の閉会の挨拶でお開きとなった。

（永廣　有伸）

じゃんけん大会は大盛り上がり

メロンが当たり喜ぶ春野会員

平成25年３月15日

選挙権者　各位
被選挙権者　各位

熊本県歯科医師会
会長　浦田　健二

会長予備選挙の公示

熊本県歯科医師会は平成25年４月１日に一般社団法人に移行することに伴い、現役員が一般社団法人移行後の最初の役員として就任し、平成25年６月22日に開催する定時代議員会の終結時をもって、任期が満了となる。

したがって、平成25年６月22日から平成27年６月開催の定時代議員会終結時までの理事を選任するには、選任後の理事会において代表理事となるべき会長候補者を会員の意思で予め決定しなければならない。

このため、会長予備選挙規則第11条により会長予備選挙を次の通り公示する。

１．定数　会長候補者　１名
２．選挙権者又は被選挙権者となる資格
　選挙権者となる資格　平成25年２月12日（火）までに正会員となった者
　被選挙権者となる資格　選挙日において正会員として２年以上在籍した者
３．届出に必要な書類
　会長予備選挙規則及び「役員等選挙実施要領」に規定する書類が必要。
４．選挙の方法
　正会員による選挙として、会長予備選挙規則及び「役員等選挙実施要領」に基づき行う。
（１）届出用紙配布期間
・配布期間　自　平成25年３月15日（金）　　至　平成25年３月29日（金）
　ただし、土日祭日は除く。
（２）立候補の届出期間
①届出期間　自　平成25年３月22日（金）　　至　平成25年３月29日（金）
　ただし、土日祭日は除く。
②届出時間　午前８時30分から午後５時までとする。
③届出先　　選挙管理委員会
（３）投票の期日及び方法
本会所定投票用紙による郵便投票
・投票用紙発送日　平成25年４月２日（火）
・投票締切　　平成25年４月13日（土）午後２時到着分まで
※立候補届出期間の終了日時である平成25年３月29日（金）午後５時を過ぎた時点において、候補者が定数（１名）のときは、郵便投票は行わない。
（４）立候補者の辞退期限
平成25年４月３日（水）午後５時まで
（５）開票
・日時　平成25年４月13日（土）午後３時から
・場所　熊本県歯科医師会館
※ただし状況により開票の時間は若干前後することがある。
（６）開票立会い
各候補者が推薦した開票立会人による。
（７）当選者
　会長予備選挙の当選者は、有効投票の多数を得た候補者とする。なお、候補者が定数（１名）のときは郵便投票を行わないで、その候補者を当選とする。
〔ただし、当選者が代表理事（会長）となるには、「代議員会の決議によって理事として選任されること」及び「理事会の決議によって代表理事として選定されること」が必要。〕

〔注〕平成24年９月15日に開催した臨時総会において、選挙規則等の定めに基づく業務の執行は、移行後の役員選任のための定時代議員会までの時間的制約があることから、移行後の役員の選任に係る公示等の諸手続き及び会長予備選挙に係る諸手続きは前倒しで実施することの了解を得た。

ニューグルメハンター

並木坂の居酒屋
晴レル家

○所在地
〒860-0848
熊本市中央区南坪井町5-4
ドルハウスビル１Ｆ左
☎096-325-7225

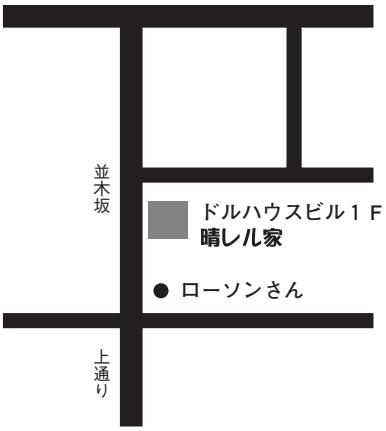
○営業時間
17：30～24：00

○店の雰囲気、客層
若い方～年輩の方まで
テーブル席14席、個室（掘りゴタツ）
６名、ロフト（10名）
色々な用途に合わせて席を選べて、隠れ家的雰囲気が売りです＼(＾▽＾)／

○収容人数・席数
テーブル（14名）個室（６名）
ロフト（10名）カウンター（５席）
貸しきり歓迎致します(＾▽＾)

○店長・女将さんの自己紹介
笑顔が売りの店主と、話好きな女将が皆様の御来店お待ちしてます♡
料理の世界に入り、20年になる店主のこだわりの料理、ドレッシング～ステーキソース全て手作りにこだわったお料理ぜひ食べに来て下さい。

○料理の種類・おすすめ料理・お酒の種類
馬刺し、馬創作料理、地魚の刺身～居酒屋メニューまで全80種類ございます。
一番人気は、今や貴重となった馬レバー刺（一皿1200えん）、馬そぼろと里芋のコロッケ



お酒は、日本酒・ワイン・焼酎・梅酒・カクテル豊富に取り揃えております
(＾▽＾)
ノンアルコールメニューも沢山あるので、ハンドルキーパーの方も退屈しませんよ！
コースは、￥4,000～（飲放120分付）料理８品、小鉢、サラダ、揚物、刺盛、満腹になりますヨ!!

H.25.3

会　務　報　告

自　平成25年１月21日
至　平成25年２月24日

所管	日付	摘要	出席
総　務	１月21日	第３回県医療審議会（県庁）	浦田会長
	22日	第４回日歯歯科保健医療に関する情報戦略ワーキンググループ会議（日歯会館）	渡辺専務理事
	23日	県老人クラブ連合会「健康づくり推進員」フォローアップ研修会（県総合保健福祉センター）	宮坂副会長
		熊本民事調停協会新年会（ＫＫＲホテル）	前野会員
		日本プライマリ・ケア連合学会第９回九州支部総会・講習会実行委員会	小島副会長
	24日	第10回理事会 （１）新入会員の承認（２）平成24年度通常代議員会・総会の会務報告書 （３）平成24年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算案　ほか	浦田会長他宮坂副会長を除く全役員、伊藤学院長
	25日	県歯科技工士試験委員会（県庁）	松岡常務理事、牛島・椿理事、添島委員長
		故上田義信先生死亡叙位伝達式	浦田会長
		玉名郡市歯会新年会（司ロイヤルホテル）	浦田会長
		第17回新法人設立検討臨時委員会	牛島委員長他全委員
	26日	新入会員研修会（施設基準届出に係る研修会） 受講者：76名（新入会員38名、新入会員以外38名）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、勇常務理事、前田・松本・牛島・椿理事、岡田医対委員長
		月次監査	片山・西野監事
	29日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
	30日	第５回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	小島副会長
	２月１日	21世紀プロジェクト会議 （１）対外ＰＲ	小島副会長、渡辺専務理事、全常務理事、田上・大林・加藤・牛島・椿理事、伊藤学院長
	２日	第３回熊本県歯科口腔外科研修会	浦田会長、小島副会長
	４日	災害対策準備委員会 （１）災害対策検討臨時委員会	小島副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
	５日	県老人クラブ連合会第２回健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
		第21回常務理事会　（１）九地連協議会の各県提出協議題に対する回答 （２）中規模県歯科医師会連合会の提出協議題に対する回答 （３）通常代議員会日程資料及び当日のタイムスケジュール　ほか	浦田会長、小島・宮坂副会長、松岡・勇常務理事、牛島理事
	７日	第２回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（水前寺共済会館）	小島副会長
	８日	くま歯キャラバン隊（水俣・芦北郡市）（芦北町社会教育センター） 受講者：14名	渡辺専務理事、前田・松本理事、伊藤学院長
	13日	県医療・保健・福祉連携学会第４回企画委員会（県医師会館）	小島副会長
		くま歯キャラバン隊（菊池郡市）（菊池郡市歯会館）　受講者：44名	赤尾委員
	14日	本会事業・会計監査	浦田会長、片山・西野監事、渡辺専務理事、八木常務理事、吉永会計士
	16日	九州各県会長会議（ロワジールホテル那覇）	浦田会長
		九地連協議会（ロワジールホテル那覇）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、松岡常務理事、澤田事務局長
	17日	九州各県事務局長連絡会（ロワジールホテル那覇）	澤田事務局長
	19日	熊本市歯会北部第２支部新年会（熊本市）	浦田会長
	20日	都道府県歯会事務連絡会（日歯会館）	塩山係長
		第22回常務理事会 （１）第６次熊本県保健医療計画案に対する意見（２）災害対策検討臨時委員会の設置 （３）会報３月号の送付日　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、牛島理事
	21日	中規模県歯科医師会連合会会議（アルカディア市ヶ谷）	浦田会長、小島副会長
	22日	県歯科技工士国家試験実地試験（熊本歯科技術専門学校）	添島委員長
		第115回都道府県会長会議（日歯会館）	浦田会長、小島副会長
	23日	社会歯学研究会冬期研修会（至24日）（福岡県歯会館）	浦田会長、小島副会長
		熊本市保健医療専門団体連合会創立30周年記念祝賀会（熊本ホテルキャッスル）	渡辺専務理事
学　術	１月27日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ（熊本会場） 受講者：130名	浦田会長、小島副会長、八木常務理事、前田・牛島理事
	30日	県がん患者医科歯科医療連携事業合意書調印式および記者発表リハーサル	小島副会長、渡辺専務理事、松岡・八木常務理事、松本・牛島理事
	31日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ（熊本会場・前半） 受講者：40名	小島副会長、渡辺専務理事、牛島理事、渡辺社保副委員長
	２月１日	県がん患者医科歯科医療連携事業合意書調印式および記者発表	浦田会長、小島・宮坂副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、加藤・牛島理事
	２日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ(人吉・球磨会場)(ホテルサン人吉）受講者：25名	前田・牛島理事
	３日	学術講演会（インプラント治療） 受講者：116名　講師：古賀テクノガーデン歯科　古賀剛人先生（千葉県開業）	浦田会長、小島副会長、椿理事、添島委員長他６委員
	６日	学術小委員会（１）学術パネル作製についてコロニー印刷と打合せ	椿理事
	８日	学術委員会　（１）インプラント治療講演会報告（２）松風共催講演会 （３）バイタルサインセミナー　ほか	椿理事、添島委員長他６委員
	13日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ（天草会場・後半）（ホテルサンロード） 受講者：28名	松本理事、中村直寿社保委員
	15日	熊本睡眠呼吸障害研究会幹事会（熊本中央病院）	伊藤学院長
		県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ（熊本会場・後半） 受講者：40名	渡辺専務理事、八木常務理事、牛島理事
	16日	県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅰ（玉名・荒尾会場）（玉名市文化センター） 受講者：44名	牛島理事、田中社保委員長
		県がん患者医科歯科連携事業連携講習Ⅱ（八代会場）（八代医師会館）受講者：30名	八木常務理事、清水社保副委員長

所管	日付	摘要	出席
学　術	22日	山鹿市歯会研修会（山鹿市民医療センター）	牛島理事
社会保険	1月25日	保険個別指導（ＫＫＲホテル）	田中委員長、反後・渡辺副委員長
		社会保険委員会　（１）会員向け発刊物（２）個別指導立会い・相談会 （３）個別指導対象医療機関説明会　ほか	前田理事、田中委員長他10委員
	26日	社会保険個別相談会　相談者：１名	中村悟委員
	2月1日	社会保険個別相談会（八代市）　相談者：１名	前田理事
	7日	レセプト事前チェックセンター　相談者：１名（来館・１名）	前田理事、中村悟委員
	8日	社会保険個別相談会（菊陽町）　相談者：１名	中村悟委員
	10日	社会保険個別相談会（八代市）　相談者：１名	前田理事
	14日	保険個別指導（県庁）	田中委員長、中村悟・金本委員
	23日	社会保険委員会　（１）会員向け発刊物（２）個別指導立会い・相談会 （３）個別指導対象医療機関説明会　ほか	前田理事、田中委員長他９委員
地域保健	1月23日	都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会（日歯会館）	田上・松本理事
	29日	地域保健委員会　（１）ヘル歯―元気8020支援事業（２）早産予防のための市民公開講座 （３）地域保健担当者会議　ほか	田上理事、川瀬委員長他５委員
	30日	第３回くまもと21ヘルスプラン推進委員会（県庁）	田上理事
	2月4日	全国健康保険協会熊本支部第２回健康づくり推進協議会（熊本大学）	田上理事
	8日	日本銀行熊本支店事業所健診（日本銀行熊本支店）　受診者：16名	前田明浩会員
	9日	各郡市地域保健担当者会　（１）8020支援事業（２）早産予防対策事業 （３）糖尿病・歯周病連携ネットワーク　ほか	浦田会長、渡辺専務理事、田上理事、川瀬委員長他５委員
	11日	熊本型早産予防対策事業市民公開講座 参加者数：51名	渡辺専務理事、田上・加藤理事、川瀬委員長他４委員
	21日	生活習慣病関係者研修会（県庁）	田上理事
	23日	歯科衛生士会との合同研修会 （１）標準的な成人歯科健診にかかる合同研修会	田上理事、川瀬委員長他２委員
広　報	1月22日	広報小委員会　（１）会報２月号・第１回校正	加藤理事、立本副委員長他２委員
	28日	テレメッセ打合せ（１）１月31日（木）放送分	加藤理事
	30日	広報小委員会（１）会報２月号・第２回校正	加藤理事、佐藤委員長他１委員
	31日	ＮＨＫテレメッセ出演（ＮＨＫ熊本放送局）	加藤理事
	2月14日	広報委員会　（１）会報３月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他全委員
	21日	広報小委員会　（１）会報３月号・第１回校正	加藤理事、立本副委員長他２委員
学校歯科	1月30日	第77回全国学校歯科保健研究大会第２回準備委員会 日本学校歯科医会、県教育委員会、市教育委員会（１）会場使用計画（２）ポスター作成 （３）実行委員会の構成　ほか	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、大林理事、河原委員長他全委員
		学校歯科委員会　（１）スライド・第２回校正	大林理事、河原委員長他全委員
	2月7日	県学校保健会第２回総務委員会（県庁）	浦田会長
	9日	各郡市学校歯科担当者会（関係団体との協議会） 関係団体：行政４名、歯科衛生士会９名、養護教諭部会５名	浦田会長、渡辺専務理事、大林理事、河原委員長他全委員
	13日	日学歯加盟団体長会（日歯会館）	浦田会長
		日学歯「学校歯科医生涯研修制度ならびに専門研修」説明会（日歯会館）	浦田会長
	14日	芦北町フッ化物洗口事業説明会（芦北町地域活性化センター）	宮坂副会長
	20日	学校歯科小委員会　（１）スライド作製についてコロニー印刷との打合せ	大林理事
	21日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	1月30日	医療対策小委員会　通知書発送準備	冨屋理事、岡田委員長他１委員
	2月13日	医療相談　紛争事例について損保との協議	冨屋理事、永松副委員長他１委員
	15日	医療対策委員会　（１）事例報告検討（２）医療対策講演会（３）委員提出協議題　ほか	冨屋理事、岡田委員長他全委員
センター・介護	1月23日	第４回県在宅医療連携体制検討協議会（県庁）	松岡常務理事
	24日	口腔ケア指導者養成研修会（玉名市民会館）	平井委員長
	2月15日	県障がい児（者）歯科保健推進協議会打合せ	松本理事、平井委員長他３委員
	23日	県障がい児（者）歯科保健推進協議会 藤川県議、重村県議、三島市議、熊本県６名、医療機関、施設、保護者13名	渡辺専務理事他４名
	24日	熊本市地域歯科保健研修会（熊本市役所）	松岡常務理事
総務・厚生	2月18日	総務・厚生小委員会　（１）代診派遣制度（２）がん連携（３）災害マニュアル	牛島理事、池嶋委員長他１委員
学　院	1月25日	特別講義「地域保健」（学院校舎）　講師：田上理事	
	29日	特別講義「乳幼児対応」（学院校舎）　講師：内場絹代（衛生士）	
	2月2日	学院戴帽式　来賓：11名、２年生42名	浦田会長、伊藤学院長他６名
	9日	学院一般一次・社会人入学試験（学院校舎）　受験者：12名	伊藤学院長他２名
	12日	学院入学試験委員会	浦田会長、伊藤学院長他５名
	16日	学院一般一次・社会人入学試験合格者発表（学院校舎） 合格者：一般一次５名、社会人３名	
	19日	第３回学院教務委員会（学院校舎）	伊藤学院長他５名
国保組合	1月23日	第６回国保理事会 （１）平成23年度選出の役員退職金支給額（２）平成24年度補正予算（案） （３）規約および規程の一部改正（案）　ほか	浦田理事長他全役員
	2月6日	県国保連合会理事会（ＫＫＲホテル熊本）	浦田理事長
	8日	全協事務（局）長研修会（東京・全国町村会館）	田代課長補佐
	18日	国保組合監査	原田・西野監事、浦田理事長、桑田常務理事
		第７回国保理事会　（１）平成24年度通常組合会（２）組合員資格の確認（再調査）	浦田理事長他全役員、稲葉議長
	22日	県国保連合会通常総会（熊本ホテルキャッスル）	田代課長補佐

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成24年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。是非ご加入下さい！

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。是非ご利用下さい！

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	ｱﾒﾘｶﾝﾌｧﾐﾘｰ生命
ﾒｯﾄﾗｲﾌｱﾘｺ	NKSJひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻 までご連絡ください

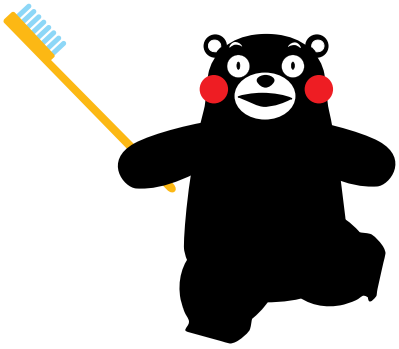
4 行事予定

3日(水)	第1回常務理事会
10日(水)	学院入学式
17日(水)	第2回常務理事会
24日(水)	第1回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

編集後記

2月の最終日曜日、島崎の百梅園にて毎年恒例の「梅祭り」が開催された早朝からの公園の清掃に始まりテント設営テーブル、イスの搬入場を盛り上げる紅白幕の設置とやる事は山ほどある。商店街の親父たちの命令の下2代目(青年部)達が手際よく仕事をこなしていく10数年前は自分もその中でぶつぶつ言いながら手伝ったことを思い出すが今は親父側サイドで楽をさせてもらっている。オープニングは千原太鼓の景気付けの太鼓の音が鳴り響くそれを待ち兼ねたように町内の人たちが集まりだしあっという間に会場は大賑わい焼き鳥おでん焼きそばの屋台も大忙しである。顔見知りの人達から声をかけられると仕事とは違って照れくさい感じがする春を告げる満開の梅の花の中宴会で盛り上がる人々の声にかき消されてか鶯の声は聞けなかったようです。 (N.T)



くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
くまもとサプライズ熊本県許可第1086号

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2013年3月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会　〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4-15
TEL.096-343-8020　FAX.096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷